



月2回のお米



コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。
毎月第2・第4木曜日 夕方発行

新潟コシヒカリ

発行日 : 2020/12/21

新潟コシ [日足] 191224 - 201218



TOPICS 2020年度産主食用コメ収穫量は722万千トン by 日本経済新聞社

農林水産省は12月9日、2020年産の主食用米収穫量が前年比▲3万6,000トン（0.5%）少ない722万5000トンになったと発表した。10月の前回調査時よりも▲4,000トン下振れした。

収穫期に実施した調査を終えた結果を公表した。全国の作況指数は99（平年並み）で、10月時点の発表と変わっていない。奈良県と佐賀県の作況を下方修正し、沖縄県を上方修正した。

今年の作柄はコメ生産が盛んな東日本と、西日本の差が大きかった。生産量2位の北海道は「良」、東北は全県で「やや良」。北陸や北関東なども軒並み平年並み以上だった。一方、西日本は害虫被害や悪天候により、多くの府県が「やや不良」や「不良」だった。

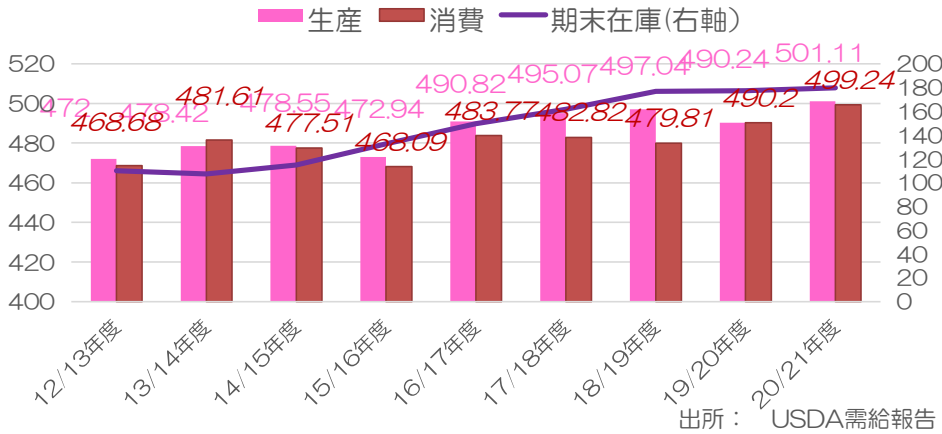
TOPICS 20/21年度の世界のコメの生産量は5億111万トン by USDA需給報告12月

百万トン	期初在庫	生産	輸入	消費	輸出	期末在庫	在庫率 (%)	在庫前年比
12/13年度	106.83	472	36.54	468.68	39.4	110.15	24%	
13/14年度	110.56	478.42	38.4	481.61	42.23	107.37	22%	▲2.8
14/15年度	113.87	478.55	41.11	477.51	43.58	114.91	24%	+7.5
15/16年度	127.89	472.94	38.33	468.09	40.34	132.74	28%	+17.8
16/17年度	142.37	490.82	41.29	483.77	47.25	149.43	31%	+16.7
17/18年度	149.43	495.07	47.38	482.82	47.33	161.68	33%	+12.3
18/19年度	164.22	497.04	44.05	479.81	40.92	176.93	37%	+15.3
19/20年度	175.47	490.24	40.86	490.2	39.8	177.31	36%	+0.4
20/21年度	177.91	501.11	42.15	499.24	44.3	179.78	36%	+2.5
前年比	+2.4	+10.9	+1.3	+9.0	+4.5	+2.5	▲0.2%	

米国農務省による12月の需給報告では、20/21年度産世界のコメの生産量は5億111万トンで前年比+1090万トン増であった。消費量は+900万トン増の4億9924万トン、輸出は+450万トン増の、4,430万トン、輸入は4215万トンであった。期末在庫は前年により+250万トン増加し、1億7978万トンになり、在庫率は前年とほぼ横ばいの36%であった。

世界のコメの 生産と消費と期末在庫の推移

百万トン

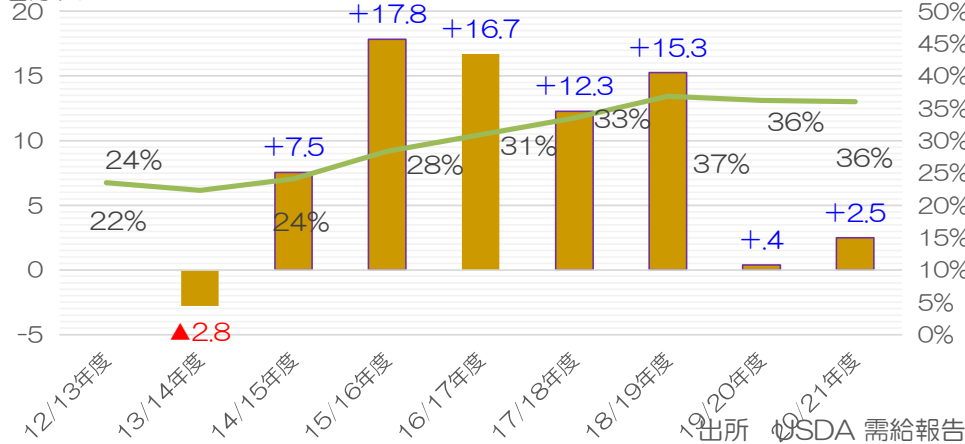


世界のコメの生産量と消費量は右肩上がりです。12/13年度に4億7,200万トンだった生産量は5億111万トンとなり、消費量は4億6868万トンから4億9,924万トンになっている、8年間で

生産量は+3,310万トン増加し、消費量は+3066万トン増加している。

期末在庫の前年比と在庫率

百万トン

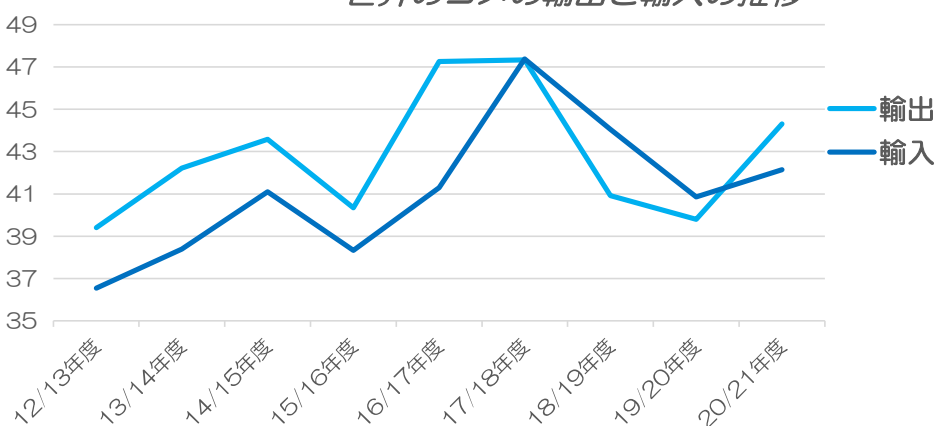


20/21年度の生産量としようひりょうはほぼ均衡している。

この2年間の在庫量は若干の増加で、世界の需給はほぼ均衡していると言って良いだろう。2013/14年度のみ在庫が減少しているが、その後は在庫増となり、この2年間は横ばいである。

世界のコメの輸出と輸入の推移

百万トン



20/21年度は輸出の方が輸入量を上回る見込みで、コロナの影響かもしない。

TOPICS 世界のコメ生産国の生産量推移
by USDA Rice Outlook 2020年12月14日号より

世界で最も多くコメを生産しているのは中国で、19/20年度は前年から▲176万トン減少したが、20/21年度は+27万トン増の1億4700万トンとなっている。生産国の第2位はインドで、1億2千万トンを生産し、2年連続で150万トン以上の増産となっている。3位以下はバングラデシュ、インドネシア、ベトナム、タイ、ビルマ、フィリピンの順で、日本は第9位となっている。なお、USDAの集計では762万トンとなっているが、実際は722万トンであった。そうであればブラジルの下第11位である。

世界の国別コメの生産量

	千トン	18/19年度	19/20年度	増減	20/21年度	増減
	世界合計	497,040	496,105	▲935	501,201	+5,096
1	中国	148,490	146,730	▲1,760	147,000	+270
2	インド	116,480	118,426	+1,946	120,000	+1,574
3	バングラデシュ	34,909	35,850	+941	35,300	▲550
4	インドネシア	34,200	34,000	▲200	34,900	+900
5	ベトナム	27,344	27,150	▲194	27,000	▲150
6	タイ	20,340	17,655	▲2,685	18,600	+945
7	ビルマ	13,200	12,700	▲500	12,900	+200
8	フィリピン	11,732	11,927	+195	11,700	▲227
9	日本	7,657	7,611	▲46	7,620	+9
10	パキスタン	7,300	7,200	▲100	7,600	+400
11	ブラジル	7,140	7,602	+462	7,480	▲122
12	米国	7,107	5,864	▲1,243	7,180	+1,316
13	カンボジア	5,742	5,740	▲2	5,710	▲30
14	ナイジェリア	4,538	5,040	+502	5,040	+
15	その他	4,014	4,065	+51	4,082	+17
16	エジプト	2,800	4,300	+1,500	4,000	▲300
17	ネパール	3,736	3,696	▲40	3,696	+
18	韓国	3,868	3,744	▲124	3,507	▲237
19	スリランカ	3,131	3,130	▲1	3,038	▲92
20	マダガスカル	2,579	2,688	+109	2,560	▲128
21	ペルー	2,455	2,201	▲254	2,346	+145
22	マリ	2,059	2,080	+21	2,150	+70
23	タンザニア	1,991	2,046	+55	2,112	+66
24	イラン	1,993	1,993	+	2,000	+7
25	ラオス	1,680	1,950	+270	2,000	+50
26	EU	1,964	1,984	+20	1,975	▲9
27	コロンビア	1,691	1,750	+59	1,900	+150
28	マレーシア	1,825	1,825	+	1,825	+
29	ギニア	1,544	1,715	+171	1,716	+1
30	コートダジュール	1,304	1,250	▲54	1,400	+150
31	北朝鮮	1,360	1,360	+	1,360	+
32	台湾	1,365	1,254	▲111	1,225	▲29
33	ウルグアイ	840	846	+6	879	+33
34	アルゼンチン	774	795	+21	819	+24
35	シエラネオネ	920	775	▲145	819	+44
36	セネガル	821	785	▲36	789	+4
37	ロシア	675	715	+40	720	+5
38	ガイアナ	627	683	+56	712	+29
39	パラグアイ	693	790	+97	670	▲120
40	ドミニカ共和国	643	643	+	650	+7
41	豪州	48	38	▲10	605	+567
42	トルコ	610	610	+	591	▲19
43	カーナ	531	540	+9	575	+35
44	ボリビア	414	286	▲128	345	+59
45	アフガニスタン	229	377	+148	343	▲34
46	モザンビーク	331	228	▲103	299	+71
47	ニカラグア	300	249	▲51	272	+23
48	イラク	13	347	+334	266	▲81
49	キューバ	299	247	▲52	255	+8
50	メキシコ	188	172	▲16	193	+21
51	パナマ	206	150	▲56	181	+31
52	ウガンダ	170	163	▲7	166	+3
53	ベネズエラ	170	140	▲30	130	▲10

TOPICS コメの輸出国

世界の国別コメの輸出量

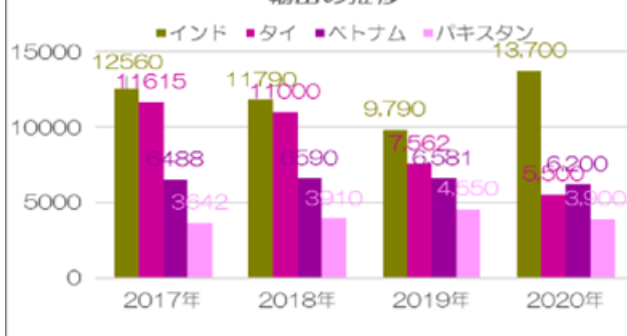
	千トン	2019年	2020年	増減
	世界合計	43,611	44,328	+717
1	インド	9,790	13,700	+3,910
2	タイ	7,562	5,500	▲2,062
3	ベトナム	6,581	6,200	▲381
4	パキスタン	4,550	3,900	▲650
5	米国	3,138	2,900	▲238
6	中国	2,720	2,700	▲20
7	ビルマ	2,700	2,300	▲400
8	カンボジア	1,350	1,350	
9	ブラジル	954	1,300	+346
10	ウルグアイ	809	950	+141
11	パラグアイ	689	800	+111
12	ガイアナ	496	520	+24
13	EU	294	310	+16
14	アルゼンチン	388	315	▲73
15	トルコ	202	225	+23
16	その他	143	206	+63
17	豪州	134	40	▲94
18	南ア	111	115	+4
19	ロシア	153	100	▲53
20	スリナム	100	100	
21	ギニア	100	100	
22	ペルー	105	100	▲5
23	台湾	91	180	+89
24	カザフスタン	88	100	+12
25	日本	67	70	+3
26	ラオス	81	80	▲1
27	韓国	53	55	+2
28	コートダジュール	100	50	▲50
29	マレーシア	30	30	
30	エジプト	20	20	
31	メキシコ	12	12	

コメの輸出が一番多いのはインドで、2020年は1,370万トンとなる見込み。前年から+391万トン増加する。第二位はタイで550万トンと前年から▲206万トンと大きく減少する。これは天候異変があったためである。東南アジア諸国全体に輸出は減少傾向にある。日本は7万トンで第25位である。

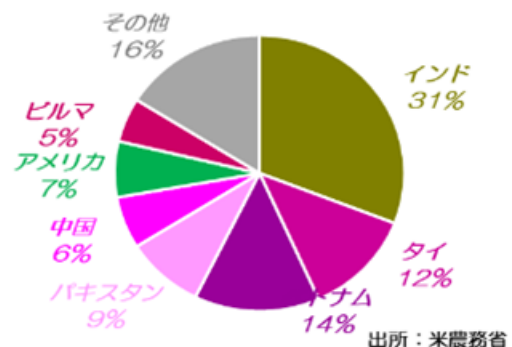
主要国のコメ輸出（2020年12月現在：単位=1000トン）

千トン	2017年	2018年	2019年	2020年	前年比	2021年予想	2020年のシェア
インド	12560	11790	9,790	13,700	+3,910	13,000	31%
タイ	11615	11000	7,562	5,500	▲2,062	7,000	12%
ベトナム	6488	6590	6,581	6,200	▲381	6,300	14%
パキスタン	3642	3910	4,550	3,900	▲650	4,000	9%
中国	1100	2,058	2,720	2,700	▲20	2,700	6%
アメリカ	3384	3150	3,138	2,900	▲238	3,050	7%
ビルマ	3350	2,750	2,700	2,300	▲400	2,200	5%
その他	5,953	6,310	6,570	7,128	+558	6,543	16%
世界計	48092	47,558	43,611	44,328	+717	44,793	100%

インド・タイ・ベトナム・パキスタン米
輸出の推移



2020年のコメ輸出国シェア (%)



TOPICs コメの輸入国

世界の国別コメの輸入量				
	千トン	2019年	2020年	増減
	世界合計	43611	44328	+717
1	EU	2159	2400	+241
2	中国	2800	2300	▲500
3	ペルー	2900	2300	▲600
4	サウジアラビア	1425	1500	+75
5	ナイジェリア	1800	1400	▲400
6	米国	981	1185	+204
7	イラン	1400	1150	▲250
8	マレーシア	1000	1150	+150
9	セネガル	1000	1150	+150
10	コートダジュール	1350	1100	▲250
11	イラク	1263	1100	▲163
12	南ア	966	1000	+34
13	UAE	850	1000	+150
14	ガーナ	900	900	+
15	ボリビア	691	850	+159
16	メキシコ	730	850	+120
17	ネパール	620	850	+230
18	ギニア	530	700	+170
19	日本	678	685	+7
20	モザンビーク	640	650	+10

コメの輸入が一番多いのはEUで、2020年は240万トンとなる見込み。前年から+24万トン増加する。第二位は世界最大の生産国中国で、たくさん生産する一方で輸入も多く、2020年度は230万トンの見込み。前年からは▲50万トン減となる。次いでペルー、サウジアラビア、ナイジェリアとなり、米国も118万トンほど輸入している。日本は68万トンで第19位。コメの輸入国は多い。

世界の国別コメの輸入量				
	千トン	2019年	2020年	増減
21	ケニア	610	625	+15
22	ビルマ	600	620	+20
23	バングラデシュ	550	600	+50
24	ブラジル	600	600	+
25	エジプト	520	560	+40
26	インドネシア	600	550	▲50
27	ハイチ	470	500	+30
28	トルコ	489	500	+11
29	イエメン	560	500	▲60
30	ソマリア	450	475	+25
31	キューバ	457	470	+13
32	韓国	297	450	+153
33	ベネズエラ	515	450	▲65
34	カンボジア	421	425	+4
35	ベトナム	500	400	▲100
36	マダガスカル	440	390	▲50
37	ニジェール	360	380	+20
38	シエラレオネ	330	360	+30
39	シンガポール	321	350	+29
40	香港	317	330	+13
41	リベリア	290	330	+40
42	パラグアイ	292	330	+38
43	アフガニスタン	220	310	+90
44	アルゼンチン	212	300	+88
45	ドミニカ共和国	665	300	▲365
46	マリ	300	300	+
47	トーゴ	290	300	+10
48	コロンビア	190	250	+60
49	タイ	250	250	+
50	ヨルダン	220	230	+10
51	パキスタン	230	220	▲10
52	オマーン	180	210	+30
53	北朝鮮	200	200	+
54	ロシア	229	200	▲29
55	シリア	208	200	▲8
56	タンザニア	190	200	+10
57	ホンジュラス	130	170	+40
58	グアテマラ	100	150	+50
59	リビア	190	140	▲50
60	パナマ	63	130	+67
61	台湾	110	110	+
62	臺州	80	100	+20
63	ニカラグア	103	100	▲3
	その他	4579	5543	+964

TOPICS 世界のコメの価格の推移

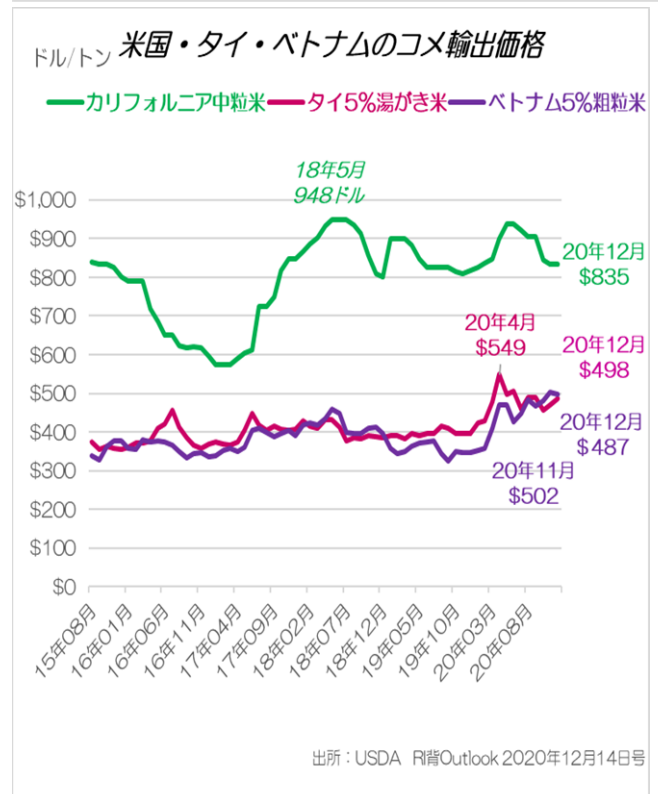
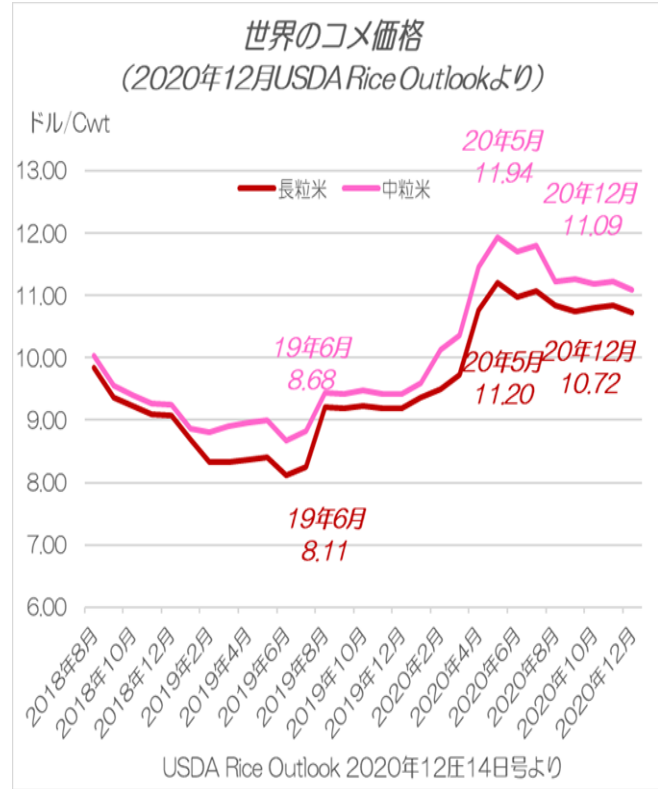
USDAのRice Outlook2020年12月14日号によれば、世界の長粒米の価格は今年5月を頂点に少しずつ下落基調にある。

直近の12月の価格は10.72ドル/CWT(約45グラム※)である。

カリフォルニア中粒米の価格は5月以降下落し12月は835ドル/トン、タイ5%湯がき米は4月以降下落し487ドル/トン、ベトナム5%粗粒米は上昇し11月が最高値の502ドルをつけた。

※ CWTとは100ボン(45.359237 kg)当たりの

トン当たり	カリフォルニア中粒米	タイ5%湯がき米	ベトナム5%粗粒米
2015年8月	\$839	\$374	\$340
2015年9月	\$835	\$356	\$329
2015年10月	\$835	\$362	\$364
2015年11月	\$825	\$358	\$376
2015年12月	\$802	\$354	\$377
2016年1月	\$790	\$360	\$359
2016年2月	\$790	\$372	\$354
2016年3月	\$790	\$371	\$381
2016年4月	\$719	\$376	\$374
2016年5月	\$685	\$410	\$376
2016年6月	\$650	\$422	\$374
2016年7月	\$650	\$455	\$366
2016年8月	\$622	\$412	\$350
2016年9月	\$618	\$384	\$334
2016年10月	\$621	\$367	\$345
2016年11月	\$618	\$359	\$346
2016年12月	\$597	\$368	\$337
2017年1月	\$575	\$373	\$340
2017年2月	\$575	\$369	\$353
2017年3月	\$575	\$367	\$357
2017年4月	\$591	\$375	\$350
2017年5月	\$603	\$405	\$360
2017年6月	\$613	\$447	\$405
2017年7月	\$725	\$418	\$409
2017年8月	\$725	\$405	\$400
2017年9月	\$748	\$414	\$389
2017年10月	\$818	\$407	\$396
2017年11月	\$848	\$405	\$403
2017年12月	\$848	\$408	\$390
2018年1月	\$868	\$429	\$417
2018年2月	\$885	\$414	\$423
2018年3月	\$903	\$411	\$419
2018年4月	\$932	\$432	\$435
2018年5月	\$948	\$433	\$459
2018年6月	\$948	\$412	\$448
2018年7月	\$948	\$378	\$399
2018年8月	\$936	\$385	\$396
2018年9月	\$913	\$383	\$396
2018年10月	\$855	\$392	\$409
2018年11月	\$810	\$387	\$413
2018年12月	\$800	\$385	\$396
2019年1月	\$900	\$392	\$359
2019年2月	\$900	\$391	\$344
2019年3月	\$900	\$383	\$349
2019年4月	\$882	\$396	\$362
2019年5月	\$848	\$391	\$371
2019年6月	\$825	\$396	\$375
2019年7月	\$825	\$396	\$377
2019年8月	\$825	\$416	\$344
2019年9月	\$825	\$411	\$325
2019年10月	\$814	\$396	\$350
2019年11月	\$810	\$395	\$348
2019年12月	\$818	\$396	\$348
2020年1月	\$825	\$424	\$351
2020年2月	\$836	\$430	\$358
2020年3月	\$848	\$477	\$410
2020年4月	\$899	\$549	\$470
2020年5月	\$938	\$497	\$470
2020年6月	\$938	\$505	\$425
2020年7月	\$921	\$460	\$449
2020年8月	\$905	\$488	\$485
2020年9月	\$905	\$488	\$467
2020年10月	\$846	\$457	\$480
2020年11月	\$835	\$471	\$502
2020年12月	\$835	\$487	\$498



今後の見通し

2020年度産の日本のコメの生産量は722万トンに確定し、新型コロナウイルスの再拡大を受けて、中食用や外食用コメの需要が再び減少傾向にあるものと思われ、新潟コシヒカリの価格は少し下落している。

世界のコメの生産量は5億トンを超え5億111万トンとなり、消費量は昨年の4億6868万トンから4億9,924万トンになっている、8年間で生産量は+3,310万トン増加し、消費量は+3066万トンとそれぞれ大きく増加している。インドの生産量が増えたのに対し、タイ、ベトナム、パキスタン、米国の生産量が減少している。合計では前年比+71万トン増となっている。また来年も更に生産量は増加する予想となっている。

世界のコメの価格は5月をピークに少し下落しているが、まだ高値で安定して横ばいとなっている。

今後の価格は需要次第の需給相場となるだろうが、コメの在庫は内外で潤沢にあり、それ程値上がりするとは思えない。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス
〒181-0012東京都三鷹市上連雀1-1-5三鷹ロイヤルハイツ706号
メールアドレス: kondo@commi.cc
携帯電話 090-1628-0583